

◎「会員だより」

本市において「道の駅」の整備が計画されています。6月号の「特集」の「広域災害に対応した道の駅を！」を読んで、防災機能の必要性の検討などが参考になりました。
匿名希望（市町村勤務、38）

当県においても中心市街地の衰退が懸案となっている市町村が多く、県と市が連携してまちづくりを進めています。主役である民間や地元住民をいかに巻き込んでいくかが課題となっています。5月号の「特集」の「前橋市アーバンデザインによる官民連携まちづくりの取り組み」はとても興味深く参考になりました。
川口滑也（都道府県勤務、54）

5月号の「特集（地域活性化の推進）」では、地域の特色を生かし、コロナ禍でも憩いの場を創出しようという取り組みが多数掲載されていました。自分自身も官民連携事業に携わっているのでたいへん励みになりました。
大宮雄一（都道府県勤務、48）

5月号の「諸外国のインフラ情報」を読んで、日本国内ではインフラの維持管理も困難な予算措置の状況に対して、米国では大規模なインフラ投資案が公表されていることに興味をもちました。
匿名希望（都道府県勤務、29）

4、5月号で「資格取得のすすめ」が掲載されていました。自治体職員は率先して資格取得にチャレンジした方が良いと思います。自治体職員に奮起を促すよう、このような記事を多く掲載してほしいと思います。
山本和彦（市町村勤務、63）

5月号の「学ぶ・つなぐ・広げる」の「働きやすい職場づくりのために」を読んで、女性土木職員の意見に改めて気づかされました。近年民間の景気が良い事もあり、当市も職員の確保に苦慮しています。そんな中女性が働きやすい環境を整えることは今後安定した土木行政を行うために重要だと感じました。
吉田大展（市町村勤務、37）

5月号の「災害査定上の留意点」は、被災法面について、被災原因を十分に把握し、比較検討を行った上で工法を決定する必要があるという内容がわかりやすく、大変参考になりました。
匿名希望（都道府県勤務、54）

5月号の「建設技術者のためのこの一冊」で紹介されていた「基礎から学ぶインフラ講座」を拝読しました。第3章の「基礎から学ぶ河川事業」では、「年超過確率」は「●年間に1回程度発生する」は誤解が生じること、「上下流バランス」は、効率性だけではなく公平性の観点が必要であることなどがわかり、たいへん役に立ちました。
匿名希望（都道府県勤務、49）

6月号の「巻頭言」の「天下の魁・水戸にふさわしい風格のある歴史まちづくり」を読んで、水戸市では地形的・文化的背景を十分に考慮したインフラの整備がされており、自治体の取り組みとして見習うことが大変多いと感じました。
匿名希望（市町村勤務、33）

梅雨入りし、大雨が心配される中、6月号の「特集（災害に強い安全な国土づくり）」を興味深く読みました。特に簡易型浸水センサーを既設のカーブミラー等に設置して、浸水状況を共有するシステムなどの取組みが紹介されており、とてもよかったです。
今川 文（都道府県勤務、42）

大石会長の6月号「上徳不徳」の「基礎研究とはバラマキが基本」は響く言葉です。投資すべきところに投資してこなかったことで、ワクチン開発能力のない国に転落しており、これは人材育成にも通じる言葉に感じます。
匿名希望（市町村勤務、51）

6月号の「技術資格試験合格体験記」の「効率的な勉強方法を目指して」を読みました。同じ県内の自治体職員が頑張っていることが、自分にとって資格取得の動機付けになりました。
匿名希望（都道府県勤務、55）

6月号の「公務員技術者の訴訟リスク」を拝読しました。工事事故関係に対する発注者の訴訟リスクは全く認識していませんでした。受注者の安全管理に対して発言を行うと発注者にも責任が及ぶため、注意を払うよう先輩から教を受けていたので、本記事に大きな衝撃を受けました。
岩井久（地方整備局勤務、41）

6月号の「公務員技術者の訴訟リスク」を読み、安心して働けない…。嫌な時代になったなあと思います。なので、私は保険に入りました。
匿名希望（都道府県勤務、46）

6月号の「基礎から学ぶインフラ講座」を読んで、公営住宅を担当している私が見ても、公営住宅事業の要点がわかりやく整理された内容で勉強になりました。
匿名希望（市町村勤務、30）

6月号の山形県の「学ぶ・つなぐ・広げる」を読みました。本県でも特別会員支会が中心となり、各事務所にOBを派遣し、新人等若手技術者を対象に経験談の講演や意見交換会を実施しました。時代も変わり役立つかどうか不安がありましたが、気持ちの持ち方、工夫の仕方等が参考になったようでおおむね好評でした。
匿名希望（元都道府県勤務、65）

先月、当自治体で会計検査があり、過去の「会計検査情報」で解説されていた事例と同じ指摘がありました。今後も同コーナーを注視していきたいと思えます。
匿名希望（都道府県勤務、38）

「事例から学ぶ現場力の向上」はいつも参考にしています。私も掲載されていた事例と同様の体験があり、このコラムを教材にして、職場での研修資料に活用させてもらっています。
匿名希望（都道府県勤務、56）

◎「会員だより」の投稿を募集

月刊「建設」に関する意見・感想・要望、その他の全建活動（建設技術講習会、伝承プロジェクト、公務員賠償責任保険等）に関する意見・感想・要望、業務上の悩み等をお寄せください。お寄せいただいた意見等は、今後の編集等の参考にさせていただきます。月刊「建設」の「会員だより」に掲載させていただいた場合は、クオカードを進呈いたします。詳細は全建HP上のバナーをクリックするか、下記のQRコードを読み取ってください。たくさんのご応募をお待ちしております。

一般社団法人全日本建設技術協会 事業課 峯脇・中嶋
TEL：03-3585-4546/E-mail：kensetsu@zenken.com

